

令和 7 年度第 1 回評価委員会 法人照会事項回答

1 指標 公開講座満足度が低下している要因

アンケート調査結果から想定されることは、第 1 回、第 2 回の開催時に「あまり理解ができなかった」との回答がそれぞれ 20%、30%あり、個別意見でも「難しかった」との回答が見受けられました。このことから、講座内容の理解度が満足度に反映したものと推測します。

なお、本学では、公開講座の開催にあたって、できるだけ多くのテーマの紹介や新たに本学の教員になった方に担っていただくなどの工夫をしており、令和 6 年度に担当した教員も、初めて公開講座の講師を務めております。

2 指標 地域連携センターによる情報発信回数について

令和 3 年度からセンターへの相談件数も増加し、認知度を高めるためホームページのほか、SNS も活用して、多くの手段を用いて情報発信に努めようとしています。

地域連携センターによる情報発信回数は、1 つのイベントについて同じ内容を複数の手段（ホームページ及び各種 SNS）で発信しており、その合計回数を集計しております。ホームページ・Line は広く閲覧していただく手段として、インスタグラム・フェイスブックは登録者（リピーター）に対して情報発信する手段としております。

令和 6 年度情報発信件数 (101 件) の内訳	ホームページ	43
	インスタ・フェイスブック	34
	Line	24

3 指標 SD 研修の他大学との回数比較

SD 研修の実施回数について、道内の公立大学や道外の理工系公立大学の実施回数を調べた結果、令和 5 年度及び令和 6 年度で、1 回から 15 回と幅があり、平均でも 5.8 回(R5)、5.6(R6)となりました。このことから、本学の実施回数(10 回)は他大学の実施状況の平均を上回っており、比較的多くの SD 研修を行っていると考えています。